

## 第5回 東アジア U-22 ハンドボール選手権 試合結果・戦評報告書

競技日	7月2日(日)	試合番号	M10		
種別	男子	会場	花巻市総合体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
韓国			日本		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	12	前半	15	30	
	10	後半	15		

### 戦評

互いに全勝同士で臨んだ優勝決定戦。日本(JPN)応援団の大歓声がかたまする中、⑤玉川のポストシュートで今大会フィナーレの幕が開いた。序盤 JPN はゲームメイカー⑬牧野を起点として韓国(KOR)DF陣を翻弄。対する KOR は㊦KIM が奮戦するも GK⑫岡本がこれをよく守り、前半12分には痛恨の2分間退場を犯すなど序盤は苦しい展開を強いられる。意地を見せたい KOR は⑬PARK の高い身体能力を活かして反撃。メンバーチェンジした JPN の連係ミスを突き6連取に成功するなど一気に詰め寄り、双方予断を許さぬ状況のまま前半を終える。

後半の先制弾は地元の大声援を背にした⑮安倍。その後も再び安倍、⑬牧野と続くが安定していた守備に綻びが見え始め、KOR のフィジカルを活かしたオフェンスに対応できず8分同点に追いつかれる。㉞KIM の好守も冴え、再度戦況は膠着する。均衡を破ったのはやはり⑬牧野。決死のカットインから相手の反則を誘い、それに勢いづけられ⑪小澤、⑱北詰らが速攻でゴールを量産。後が無い KOR は好機を狙うが⑫岡本が好セーブを連発。完全に主導権を握った JPN はその後も危なげなくゲームを進め、JPN 男子は初優勝の栄冠を手にし、⑮安倍は故郷へ錦を飾った。

